

台東区映像アーカイブ

? なぜこの事業を行っているのですか？

区民の皆さんや来街者の方などが持っている台東区内の風景や年中行事などが収められた昔の映像や写真は、台東区にとって貴重な財産です。これらの記録は、時間の経過とともにフィルムの劣化などで映写が不可能となったり、撮影者の死去等で作品が散逸する恐れが高くなっています。

これらの貴重な作品を後世に伝えるため、当時の記録を発掘して保存・活用しています。

? どのようなことを行っていますか？

区では、広報やホームページを通じて呼びかけを行い、映像フィルムを貸与してくれる協力者を募っています。協力者からお借りした映像を撮影時に近い状況に修復し、長い期間保存できるよう、デジタル処理を行っています。こうして蓄積したデジタル映像は、編集を行った上で、広く区民の皆さんに公開していきます。

また、平成23年から、区内在住の写真家・須賀一（すが はじめ）氏が撮影した、昭和30年代から50年代の上野公園を中心とした記録写真のネガフィルム（☞解説②）約84,000点を順次受領しています。これらのネガフィルムについてもデジタル化を進め、今後公開していきます。



僕らの夏休み（昭和34年）



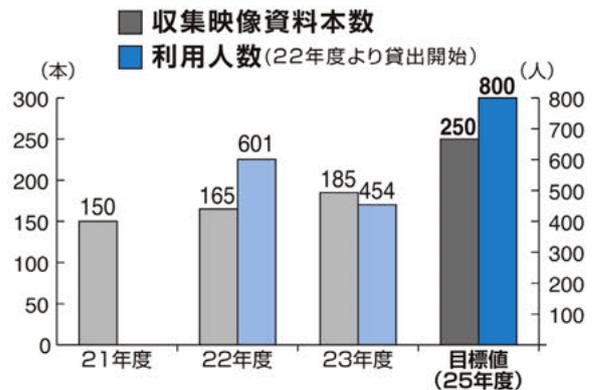
千束通り商店街アーケード完成（昭和50年）

？ 事業の進み具合はどうか？

事業開始以来、区民の皆さんや来街者の方から多数の映像資料を提供していただき、区が所有しているフィルム映像も合わせて、23年度末現在で192本のデジタル処理が終了しています。

デジタル化した映像は編集を行い、中央図書館等における貸出しや、ケーブルテレビでの番組放映を行っています。平成24年度からは、インターネット動画共有サービスの台東区公式チャンネルでも、作品の一部を公開しています。

また、須賀一氏から受領した作品のうち、デジタル化が終了したものの一部について、平成24年度中の公開を予定しています。



(資料：生涯学習課)

？ 今後はどのように取り組んでいくのですか？

区民の皆さんや来街者の方から提供していただいた映像資料や須賀一氏の作品について、引き続きデジタル化を進めていきます。

また、今後はビデオテープ等のメディアについても、調査を行い、収集・活用について検討していきます。

■この事業に関するお問合せは■

教育委員会（生涯学習担当）生涯学習課

03-5246-5852

【解説】

①アーカイブ

公共性の高い記録や資料などをひとまとめにして保存することです。

②ネガフィルム

被写体の明暗や色が反転した画像が作られる、主にプリント用の写真フィルムのことです。